

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社 北川製菓)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			通知文書や公表文書の多言語化、特定技能登録支援機関による個別指導、従業員定期面談、メンター制度の他、人事総務部に相談窓口を置いている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			ハラスメント禁止の会社方針を策定し、ハラスメント防止に係る案内文書を配布。その他研修等の実施の他、従業員への聞き取りを実施。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			勤怠管理システムの導入により、こまめなアラートでの注意喚起、部署における残業管理の円滑化を推進。業務分担やAI・IoT化による負担軽減を推進。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			特定技能管理団体、社労士、自社外国人管理スタッフによる適切な処遇、労働条件の整備と共に、メンター制度を導入している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5 人権・労働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			安全衛生委員会による周知、改善に取り組んでいる			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			ストレスチェックによる個人及び職場のストレス改善と産業医による指導を実施している。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			高齢者の雇用延長に柔軟に対応。子育て世代で短時間勤務の枠も大幅に広げている。障害者について人事総務部が定期的な面談を通し支援している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			職種・職能に応じた教育訓練制度を策定中。社内研修、外部講師によるリーダーシップ研修等に取り組んでいる。				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			パートタイム・有期雇用労働法に基づき、同一労働同一賃金への社内規定・賃金形態への見直しを実施した。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	協会けんぽの「健康企業宣言」を行うことを計画中 2026年度中の取得予定。			3					8									
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			マニフェスト管理を確実にを行い、年数回現地調査を行い、廃棄物が適切に処理されているか直接確認をしている。廃棄物に関する資料を基に排出・排気量を正しく把握している。											11.6	12.4		14.1			
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			電力・GHG等の排出量、原単位管理を実施している。							7.3						13				
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			GHG排出量を把握し、作業現場での使用量の削減活動、グリーンエネルギーへの移行を計画的に実施している。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			SDSiによる工場で使用される有害化学物質と、関係する法令を把握し、有害化学物質の使用削減と、置換に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4					

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			工場排水は法令を遵守し、浄化を行っている。						6.6									15		
16	【３Rの推進】 ・ リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			製品ダンボールのFSC材使用、製品パッケージのダウンサイジングによる省資源、分別収集によるリサイクルの徹底などに取り組んでいる。												12.5		14.1			
17	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			無駄な水を使用しないよう、水利用状況を把握し、使用量削減に取り組む。						6.4 6.6											
18	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ		【予定】	2021年時点ではエコアクション21年の認証を取得している。2024年に再取得の計画を進めている。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			年次の環境活動レポートにより、各種環境指標を報告している。												12.6					
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			工場屋根に太陽光パネルを設置し、発電を行っている。							7.2						13				
21	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			原料に含まれるパーム油のRSP0認証製品の含有量の定期的な把握、FSC認証の紙材利用の拡大を得意先と推進している。												12.2	13	14	15		
22	【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			就業規則等により、汚職・贈収賄の禁止を周知している。																16 16.5	
23	【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			業務上知りえた情報の濫用等、不正競争に関わる具体的な禁止事項を就業規則に規定し、従業員に周知している。																16	
24	【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本			自社の商標管理、商品名の設定時に商標侵害の確認などを行っている。								8.2 8.3	9								
25	【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本			個人情報保護方針を制定し、これに基づく規定の作成とジュ遵守。通販利用者の個人情報の適正な管理を行っている。共有サーバーへのアクセスログ管理を行っている。																16	
26	【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【非該当】		業種非該当																16	
27	【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			ILO・環境保護に抵触しないエシカルな調達などに関して、仕入先に周知依頼している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・ 中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			2023年5月1日より、パートナーシップ構築宣言を作成し、専用ポータルサイトより公表をしている。			3					8	9	10							17

	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本		FSSCマネジメントシステム認証取得(2018年度～)による食の安全、フードディフェンス上のリスクの評価と改善に取り組んでいる。			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本		FSSCマネジメントシステムによる食品品質管理、お客様相談室の設置と製品を通じた周知を行っている。									9								
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ		賞味期限延長による食品ロス削減への取り組み、環境配慮型商品開発の目標を設定。						6						12	13	14	15		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		バイオマスプラスチック資材導入の検討、原材料の見直しによるロスの削減、健康に配慮した商品開発(低糖質、機能性食品等)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本		工場見学受け入れ、観光業との連携、工場から排出されるCO2・排水・騒音・悪臭等の監視と対応。				4					9		11	12		14	15		17
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ		地元の保育園、病院等への寄付活動、ルノールリヴィエールにおけるイベントの開催、地域イベントへの協賛等を実施。				4							11			14	15		17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ		ルノールリヴィエールにおける地元原料使用による商品開発を販売。								8	9		11	12	13				
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本		経営方針・品質方針等に基づく年度毎の部門方針、目標の設定と改善方策の策定、チャレンジによる具体的取り組みを行っている。								8	9								17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本		人事総務部による法令管理(労基・環境)、FSSCによる食品衛生関係法令の監視と、社内規定への反映・周知を随時実施している。																16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本		管理本部を中心に組織体制を整えている。																	16
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本		市場クレーム・お客様からの問い合わせの分析、地域住民・行政からの要望への対応、協力会による仕入れ先との意思疎通を行っている。																16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ		経営方針・FSSCによるリスクと機会の検討、HACCPプラン・品質目標への落とし込みと改善を行っている。																16	
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ		SDGs視点でのCSR方針の策定と中長期目標の設定(KPI)と管理。																16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】	災害時、購買品の調達などの事業継続計画を検討している。2026年度中の計画予定。									9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ		後継者の外部研修を行っている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、 間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定